

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	れいんぼう川崎	評価対象年度	平成23年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護・施設入所（定員60名）契約者数 58名（平成24年3月31日現在） 短期入所（定員10名）延利用者数 3,153名 自立訓練（定員20名）契約者 47名（機能訓練11名、生活訓練36名） 在宅リハ訪問件数 572名、診療延件数 1,679件																																										
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>651,496,747円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>669,873,673円</td> <td>-21,752,236円</td> </tr> <tr> <td>自立支援費等</td> <td>513,657,415円</td> <td>人件費</td> <td>411,304,961円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常経費補助金</td> <td>121,257,659円</td> <td>事務費</td> <td>69,801,107円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経理区分間繰入金</td> <td>13,214,633円</td> <td>事業費</td> <td>59,604,171円</td> <td>※指定管理料</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,367,040円</td> <td>経理区分間繰入金</td> <td>129,163,434円</td> <td>111,874,774円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>651,496,747円</td> <td>施設整備等</td> <td>3,375,310円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>673,248,983円</td> <td></td> </tr> </table>	収入		支出		収支差額	福祉事業活動	651,496,747円	福祉事業活動	669,873,673円	-21,752,236円	自立支援費等	513,657,415円	人件費	411,304,961円		経常経費補助金	121,257,659円	事務費	69,801,107円		経理区分間繰入金	13,214,633円	事業費	59,604,171円	※指定管理料	その他	3,367,040円	経理区分間繰入金	129,163,434円	111,874,774円	合計	651,496,747円	施設整備等	3,375,310円				合計	673,248,983円			
収入		支出		収支差額																																							
福祉事業活動	651,496,747円	福祉事業活動	669,873,673円		-21,752,236円																																						
自立支援費等	513,657,415円	人件費	411,304,961円																																								
経常経費補助金	121,257,659円	事務費	69,801,107円																																								
経理区分間繰入金	13,214,633円	事業費	59,604,171円	※指定管理料																																							
その他	3,367,040円	経理区分間繰入金	129,163,434円	111,874,774円																																							
合計	651,496,747円	施設整備等	3,375,310円																																								
		合計	673,248,983円																																								
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度身体障害者のための施設として、リハビリテーションを主体とした利用者の能力を引き出すような支援を行っている。</li> <li>・厚生労働省の福祉用具臨床的評価事業の受託や川崎市の川崎基準推進協議会の委員として、福祉用具の評価等に取り組んでいる。</li> </ul>																																										

3. 評価（評価段階：5→1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・自立訓練事業では、訓練終了者2名がピアサポーターとして活動を行っており、他の利用者の意欲の向上等に寄与している。 ・権利擁護委員会が設置され、職員アンケートの実施やガイドラインの策定など、施設全体で知識と意識の向上に努めている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) ・重度の障害のある利用者の受け入れやリハビリテーションを行うことによる支援加算などによって、安定した自立支援費等の収入を得ており、経営状態は良好である。 ・会計処理について、監事による監査のほか、法人として外部の監査法人による監査を実施しており、「適切に行われている」という評価を得ている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・高次脳機能障害の理解とニーズの掘り起こしのため、北部リハビリテーションセンターと共同で「デリバリー研修会」を開催し、多くの参加者から好評を得ている。 ・各事業で利用者のニーズに応じるため、チームで支援計画を策定するなど、質の高い支援を行っている。 ・利用者満足度調査を実施して、利用者へのサービス向上に努めている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修委員会を設置し、計画的に職員研修を開催し、外部の研修にも積極的に派遣を行っている。</li> <li>・事故を未然に防ぐ観点でケアマニュアルを作成し、注意喚起を行っている。また、事故防止検討委員会を月1回開催し、事故やひやりハットを検証し、関係職員への周知等を行っている。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「れいんぼう情報資産管理規定」に従って情報管理が行われている。また、備品や消耗品の補充について、適切な管理が行われている。</li> <li>・各種保守、点検について、業務委託により適切に実施されている。</li> </ul>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準: C,A→90点以上,B→80点以上90点未満,C→60点以上80点未満,D→40点以上60点未満,E→40点未満  
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・高次脳機能障害の支援ネットワーク構築のため、神奈川県内の専門機関と定期的に連絡会を開催している。また、北部リハビリテーションセンターと共同で「高次脳機能障害デリバリー研修会」を開催し、支援員の資質向上に努めていることは大変評価できる。  
・「れいんぼう祭り」の開催や関係機関との定期的な情報交換等によって、地域や関係機関との連携した支援体制の構築に努めている。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・高次脳機能障害については、支援の必要な方が増加していくことが見込まれる。より高度な支援体制の確立に努めていくこと。  
・今後においても利用者満足度調査を定期的の実施し、サービスの改善に努めること。また、満足度調査以外の利用者ニーズの把握については、様々な方法で工夫をしていくこと。